

意見書

教 科
美術

種 目
美術

発 行 者
開隆堂出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・ 題材毎に、資質・能力の 3 つの柱に合った学習目標を設定している。 学習の目標の内容は、シンプルで分かりやすい文になっている。 視点毎に色を変えており、見分けやすい。
	(2)	・ 題材の各学年間における系統性や発展性に配慮している。 ・ デザインや工芸の領域では、実際に使う場面の写真を掲載し、目的や条件を意識することができるようになっている。
	(3)	・ 作品が多数載っている。構想のヒントになる言葉がある。 ・ 作者の言葉を掲載し、表現のよさや工夫が分かる。 ・ 制作過程のアイデアスケッチの例があり、見通しや造形的な視点をもって制作に取り組めるようになっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・ 題材の各活動内容の上部に、目標が示されている。 ・ 案内コメントや中学生の吹き出しをきっかけに学習を進められる。 ・ 仲間と協働的に活動する場面が多く載っている。
	(2)	・ 表現と鑑賞を一体化した授業展開を意識した紙面構成で、鑑賞での見方や感じ方を表現活動で生かせるようになっている。
	(3)	・ 各題材の二次元コードによって、題材の解説や参考作品、ワークシート等を見ることができ、用途に応じて幅広く活用できる。
3 印刷・製本等	(1)	・ 1 年生用と 2, 3 年生用の 2 冊で構成されている。大きさは両方とも A 4 ワイド版である。
	(2)	・ 作品資料が大きく掲載されて見やすい。
	(3)	・ 巻頭の目次や教科書の使い方の部分が見やすくまとめている。 ・ 巻末「学びの資料」には、表現・鑑賞で活用できる様々な内容が示されている。

意見書

教 科
美術

種 目
美術

発 行 者
光村図書出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・題材毎に、資質・能力の 3 つの柱に合った学習目標を設定している。 学習内容の内容は、端的に分かりやすい文になっている。「主題」を大切にしたい目標になっている。
	(2)	・絵や彫刻、デザインや工芸の領域で、各学年の発達段階に合った学習内容や作品資料が載っている。 ・他教科とのつながりが例示されている。
	(3)	・掲載資料が精選され、制作における工夫に気付くことができる。 ・生徒の主題や制作過程、思考に沿った具体的な工夫、作者の言葉が載っており、誰もが制作の見通しや制作手順が分かるようになっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・掲載資料やポイントなどの吹き出しにより、造形的な見方・考え方を働かせながら学習を進めていくことができる。 ・構想のヒントになり得る生徒の構想例や作品例がある。
	(2)	・表現と鑑賞の題材の配列を工夫することで、生徒が鑑賞と表現を関連付けて学習を深められるように配慮している。
	(3)	・二次元コードで、全国の生徒作品や作者の話、技法や作品解説等を視聴することができ、用途に応じて幅広く活用できる。
3 印刷・製本等	(1)	・1 年生用と 2, 3 年生用の 2 冊で構成されている。大きさは両方とも A 4 ワイド版である。別冊「資料」もある。
	(2)	・様々な資料や文章を含めた構成にまとまりがあり、見やすい。
	(3)	・2, 3 年の巻末資料では、様々な技法が紹介されている。 ・別冊「資料」には、様々な技法や材料の使い方が紹介されており、3 年間活用できる。

意見書

教 科
美術

種 目
美術

発 行 者
日本文教出版

調査項目	意 見	
1 学習指導要領 (平成 29 年告示)	(1)	・題材毎に、資質・能力の 3 つの柱に合った学習目標を設定している。 学びの目標の内容は、誰が見ても分かりやすい文になっている。 視点毎に色を変えてピクトグラムで表現されている。
	(2)	・各学年の発達段階や関心に合った学習内容や作品資料が載っている。 ・デザインや工芸の領域では、実際に使う場面の写真を掲載し、目的や条件を意識することができるようになっている。
	(3)	・「鑑賞の入り口」の問いにより、自分の見方や感じ方を働かせて鑑賞できるようにし、「造形的な視点」や「表現のヒント」をもとに自分に合った構想を練られるようにしている。 ・「作者の言葉」を掲載し、思いや工夫が分かるようになっている。
2 第 4 次岐阜県教育振興基本計画 (令和 6 年 3 月策定) [2024(R6)年度～ 2028(R10)年度]	(1)	・各題材における解説の文章や「造形的な視点」、「表現のヒント」をもとに、自分に合った構想を練られるように配慮している。 ・生徒同士での交流により、表現活動を広げる場面を紹介している。
	(2)	・「鑑賞の入り口」から〈共通事項〉を理解し、それらを踏まえて「造形的な視点」をヒントにしながら表し方を構想することができる。
	(3)	・各題材の二次元コードによって、題材の解説や参考作品等を視聴することで、用途に応じて幅広く活用できる。
3 印刷・製本等	(1)	・ 2, 3 年生は、2・3 年の「上」と「下」に教科書が分かれている。 大きさは両方とも A 4 ワイド版である。
	(2)	・ 提示資料と文章の構成、白地を基調とした紙面構成が見やすい。
	(3)	・ 巻頭の目次や教科書の使い方の部分が見やすくまとめている。 ・ 巻末「学びの資料」には、表現・鑑賞で活用できる様々な内容が示されている。